

平成29年度第3回富里市産業振興推進会議議事録

- 1 日 時 平成29年10月23日（月）
午後2時10分から午後3時40分
- 2 場 所 富里市役所3階第3会議室
- 3 出席者 寒郡茂樹委員，根本実委員，藤崎綾子委員，原幸司委員，
田中英之委員，曾田哲也委員，櫻井優好委員
中山 健アドバイザー
(事務局) 市民経済環境部長，商工観光課長，商工観光課事務局
高須農政課長

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 題
 - (1) 富里市産業振興ビジョン（案）について
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

〔会議概要〕

1 開 会

(事務局より開会のあいさつ)

議事録作成のため会議を録音することを説明。市民経済環境部農政課高須課長の出席を報告。

2 会長あいさつ

(会長あいさつ)

事務局 本日の会議の定数の報告をした。過半数以上の委員の出席があるので、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により当会議は成立している。本日の欠席している委員の報告をした。会議は、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第1項の規定により会長が議長を務める。

議 長 本日は傍聴人はおられますか。

(傍聴人なし)

議 長 会議を再開します。

議題(1)富里市産業振興ビジョン(案)について

事務局 (資料により説明)

会 長 ありがとうございます。ここで皆様方からご意見をお伺いしたいと思いますが、できれば一人一回はご意見をいただきたいところですのでけれども。

これで、まだまだアンケート等も足りないと思いますが、大体その骨格が農業あるいは商工業、観光ということ。あとアンケートも少しずつ揃ってきていますので、前回の農業に関してでも結構ですので、全般的な話を皆様方からお聞きしたいと思っております。

今日は冒頭、私の方から気になった点がありますので、意見を述べさせていただければと思います。

農業もそうですが、商工業のアンケートを聞いても、販路開拓、あるいは事業承継、創業支援ということがキーワードとして、今回のアンケートに出てきておりますが、富里市でできること、つまり市町村でできる施策というのは限度があると思っております。カラ

一があるといいと思いますが、逆に国の中小企業政策や小規模企業政策はかなりメニューがある。その情報をどうやって取得したらいいのかというのがない。県も特に創業支援や事業承継を一生懸命やられている中で、よろず支援拠点などのサポートできる体制があると思います。それを富里の事業者の人がまずどう知ることができるのか、どこに頼めばいいのかというシステムを作ることが大事なのではないかと思っています。

今回産業振興ビジョンの中にいろいろ問題点は出てきて、いくつかテーマは決まっていますが、それを全部推進できる体制ということをごどこかで議論しなければならないと思っています。

是非、推進体制も案としていただけないかと思っています。例えば、販路拡大でもっとこういうところに売りたいと思った時に、どこに相談をすればいいのかと。商工会もいいですが、やはり市の方のワンストップ窓口である程度、噛み砕いてもらうことがいいのではないかと思います。商工会でこういう事業があり、こういう支援があるから紹介しましょう、それは資金の問題があるから地元の金融機関を紹介しましょう、あるいは、よろず支援拠点のように、コンサルティングのようなものができるという情報を、知ることができるシステムを作った方が、地元の事業者にとっては、利便性があると思います。そのシステムを作る形ということをご、今回のビジョンの中には必ず取り上げないといけないと思いますので、その議論は是非していただきたいと思っています。

G 委員 ただいま、会長から話がありましたが、私は農業の代表であり、産業振興の中で観光もスタートを切ったばかりです。

岩崎家に関わる推進協議会では、他の所の観光はもう大体出来上がっている中でスタートして、仲間入りして進めております。

産業振興ビジョンの中で感じるのは、富里は他の市町村に比べて就業している方が平均的に若く、40代を中心に活躍していただいていると思います。またその下の世代も育てないといけないわけですが、独身の方が非常に多く、農業も商工業も同じ状況だと思います。先日、商工会主催の婚活イベントが雨で中止になりましたが、農業の方もスイカで「出会いまスイカ」というイベントがあって、

ようやく1組結婚が決まった状況です。

この産業振興ビジョンの中には後継者対策等も含めて将来的に、商工も農業も市全体でイベントをやっていききたい。市中心とは言いませんが、商工会青年部や農協とも協力して取り入れていければいいと思います。

他に、アンケートで富里独自の6次産業の加工で良いものがないという回答があるので、その開発について業者等を交えて行っていききたいと思います。どこか旅行に行けば、名物のお土産を買ってくるとは思います。1年を通じた加工品の開発というのは、あってもいいと思います。富里独自のもの、あるいは富里に行かないとないというものを含めて、加工品の開発ができればと思います。

D 委員 産業振興ビジョンというのは、あくまでもビジョンだと思う。しかしながら、その中にある程度の具体性もないと、これを見て実際に推進していくにあたり、方向性が見えにくい。そういった意味でもう少し具体性のあるビジョンにした方が、今後推進しやすいのではないかと思います。具体性というのはこの場で議論していくのか事務局が示すのかなんとも言えませんが。

逆に、既存資源の活用ということで、ある程度ここに出ておりますけれども、果たしてこれが既存資源としていいのか、もう少し意見を吸い上げた方がいいのではないかと思います。

E 委員 アンケートを拝見させていただき、共感できる部分が多かった。ビジョンの方もよくまとめられていて素晴らしいなと思いましたので、特に意見はございません。

A 委員 今お話がありましたように、ビジョンですからビジョンとしての仕組みに対して、逐条解説的にフォローしていく具体的内容がどのように示されているかということが現実論だと思います。

商工観光課の立ち上げから、観光協会設立というプロセスがありますが、お互いの立ち位置を明確にして、観光協会が主体性を持ち市の観光の基軸になる活動を行うことを求められていくことが、重要だと感じております。

ビジョンの中に商工観光課，商工会，観光協会，その他の事業体との連携が打ち出されているわけですから，個々の立ち位置をしっかりと確認していかないと観光協会が将来，市に移管するようなことにならないように，ビジョンとしてダブルスタンダードにならないようにやっていただければと思います。

また，創業支援についても，商工会の会長さんがいらっしゃいますが，やはり協力姿勢が基準の中でハードルが高くなかなか創業支援も事業者の資金調達も厳しいと思う。

確か，今年度は5億程度の中小企業制度融資資金が枠として設定されていると思います。あと，政策金融公庫などの活用を各地域の商工会と連携して緻密に当事者からの話を聞いて，非常に熱心に積極的にやっていると思いますので，この辺の連携もしっかりビジョンの中に打ち出されるように，もう一つ力を入れていかなければと感じました。

アドバイザー

追加の文章として空港関係と市の成り立ちも含めて経緯が書いてありますので，重みが出たなと思います。

全体的に、手段はいろいろと書いてありますが，ビジョンでするので最終的にどこに行きつくのか，基本方針は「創ること・繋ぐこと・培うこと」ということですが，これを通して，5年後にどこに到達したいのかということを確認に打ち出されると良いと思います。そして，そうした明確な方向性が最初の方に記載されてあれば，もっと引き締まった内容になると思います。一つの目標に向かっていろいろな資源を使って盛り上げていく，産業振興していくということが伝わる内容になるのがベストです。

既存資源の活用というのは，5の（2）のところで，「市内・市外の資源・・・」とあり明確にわかりますが，ただ羅列しておくだけでなく，市内の資源と市外の資源を組み合わせることを明示することが重要です。市外の様々な資源を取り入れ活用しながら，市内の資源と組み合わせることで，今まで以上に産業の振興は図れると思いますので，そうした視点も盛り込むと良いでしょう。

商業・サービス業関係者のご意見がこのアンケートに反映されて

いますが、この調査結果をみると、今後の事業存続ができるのか、発展ができるのか、という点は後継者問題にかかっていることがわかります。日本全体でも商業・サービス業における大きな問題です。特に小売業では、ネット通販の利用者が急増しているため、百貨店をはじめとする小売店舗は大きな影響を受けております。小売・サービス業がどういう方向に進むのか、特に後継者が入れば、品揃え等の工夫をして成長する店舗も出てきますが、後継者が決まっていなかったところでは、自分の子供と社員が有力な候補になりますので、事業承継に早めに取り組むことが重要です。

事業承継のセミナーはいろいろと実施されていますので、それをアピールことが大事です。また、専門家派遣事業については、県も国もやっておりますので、様々な実施主体と制度を使って事業承継をスムーズに行っていくことを啓蒙することも重要でしょう。

ワンストップ相談については、ビジョンの中で14ページの下に全体像で示されています。富里市商工会をワンストップ相談窓口ということで明記されていますが、これを一カ所とするのか、あるいはたくさんのところで受付をして、そこで相談に応じるのかを検討しておく必要があります。商工会に金融の相談に来られても、そこからまた信用金庫や保証協会の方に繋がらないといけない状況になる。2段3段構えになってしまうが、事象者からみたら間口は広いほうが良いとは思っていますので、よろず支援拠点なども含めた多様な相談窓口が整備されていますよ、と謳う方がいいでしょう。

それから、空き店舗が増えているという状況がアンケートの中にも出ております。他の地域では、空き店舗や空き家も含めてチャレンジショップとして活用を進めていこうという動きがありまして、起業家予備軍で小売業、サービス業等で創業したいという方々に、安く提供していけるよう整備していくことを明記するのもいいかと思えます。

富里ブランド＝地域ブランドを作ることは重要な戦略課題だと思います。最近、各地域・各市町村で地元ブランドの育成に力を入れ始めていますので、ビジョンの中に「富里（地域）ブランド」を育成・強化する旨の言葉を是非、取り入れていただければと思います。

地域ブランドを構築して、農業関係でもこれから行うということ

ですが、食品関係もインバウンド観光客など人を呼んでくる、お客さんと呼んでくるということが重要となります。

これからの小売・サービス業においては、人口が減っていく中で座って待っているだけでは顧客が来ない。家の中でネット通販を使って買い物をする消費者は増えている。そうした、腰の重くなってきた消費者に来てもらうためには、事業者はただ待っているだけでなく人を呼び込むという行動に転換する、そして自らもネット上で販売ができる技術を身につける必要があります。

また、SNS等を活用しながらチャレンジショップ事業を行おうという若い人たちをどんどん呼び込んで新しいことをやっていただくことも必要です。例えば、高齢化社会を背景に出張理美容という業態も流行ってきている。在宅高齢者は増えていますので、小売・サービス業は定住型だけでなく自ら動き回ってビジネスをする新しいタイプも増えてくることが望ましいので、創業支援においてもそうしたビジネスつまり高齢化社会の課題を補完するビジネスを積極的に応援していけるといいのではないのでしょうか。

B 委員 国や県の施策について、先程お話がありました、ビジョンの15ページの中で、「県の産業振興政策との連携を」という記載もありましたので、県の動きをご紹介しながら、意見を述べさせていただきます。

千葉県では、中小企業の振興に関する条例というものがあって、その条例に基づいて「ちば中小企業元気戦略」を作っております。概ね3年で見直しをしております、ちょうど今年度が見直しの年度ということで、県内各地に私どもが出て行って、中小企業の方等と意見交換をさせていただいています。

また、有識者からなる研究会を開催し、中山先生に中心的になっていただいておりますが、そういった研究会も通して、今後どういう施策を充実させていけばいいのかという議論を今年度しております。

全国的な傾向でもありますが、平成21年から26年の統計データですが、県内の企業数がかなり減りました。減った要因として商業、サービス業であれば従業員5人以下と定義される小規模企業者

がかなり減りました。そういった傾向を捉えて国の法律をはじめ、他の自治体も小規模企業者の方の振興をどうしていくかということ、を条例に盛り込んでいく動きがありまして、本県は今年度、中小企業の振興に関する条例に小規模企業者の振興を図る理念を盛り込むための条例の改正をしようと検討を進めております。

次期の元気戦略としてどうやっていくかということですが、研究会の委員の方々からもいろいろ意見をいただきながら、今のところこんな取組みの充実を図っていききたいというものでは、例えばIoT等を活用した経営革新、生産性の向上ということで、本県でもIoTを導入することによって何ができるのかということを探しているところです。

先程からお話が出ておりますが、地域資源を活用した新商品開発、特に2020年に東京オリンピックがあつて、成田空港中心に県内にも海外の方がいらっしゃるといふこともあつて、少し訪日外国人向けを意識した商品開発に力を入れられないかなど、土産物として良い物を作れないか、また、海外展開の支援を充実できないかなどを考えております。

また、人材不足ということが大きな課題となっていると思いますが、やはり女性の活躍を中心とした、また高齢者も含めた就業支援、働き方改革の関係、それから産業界と学校との連携を促していくものとして、大学生であればインターンシップに力を入れられないかなど。小中高校生の職場体験の取組みを県が関与していくことにより、もう少し進めることができないかなどを考えております。

支援施策については、国も県も含めれば結構あると思います。先日の研究会で、支援策の情報発信が十分に出来ていないという指摘を受けました。これについては、もう少し工夫していかないといけないと思っております。

実は毎年3ミリくらいの冊子を作っておりますが、存在を知られていない、見たとしても見づらいものになってしまっているのが現状です。

小規模企業者の関係では、事業承継の問題があります。商工会をはじめとする地域での経営支援を行っている機関を支援していく取組みができないかと考えています。

最終的には、県の戦略ということで多少全方位的にならざるを得ないと思います。地域の特徴を出していくことに対して限界を感じております。そういう意味では、富里市のこういう場では、地域の特性を生かしたビジョンをまとめるのが良いと思います。

そういった中で、リーサスのデータを見ていくと農業、それから食料品、こういったものが非常に強いという特徴がある。地域資源を用いた土産物に限りませんが、富里に来たらこういう物が買えるというものを是非作り出していくべきだと思います。

成田空港が近いということがメリットなわけですから、観光の面でもそうですし、物流の面でも利便性を強調したようなビジョンにしていければ良いのではないかと思います。

やはり、市で全部やるのではなく、国や県の施策をうまく活用すれば良いのではないかと思います。そのためには、県ももっと支援策をわかりやすくすることが必要ですが、やはり限界があって、仮にこういう支援があるということが行き届いたとしても、拠点が千葉市中心になってしまう。そうすると富里の人が気軽に相談を受けたいと思っても遠い。よろず支援拠点は、できるだけ県内各地に拠点を設けていますが、一月に一回の相談日なので、十分ではありません。

そういう意味では、市又は商工会が、初期対応として事業者の課題を聞いて、その課題を整理してあげることができると良いのではないかと思います。その上で、次の県の機関、稀に国の機関かもしれませんが、繋ぎができれば良いのではないかと思います。そういうことが地元で出来ると、またそこに行こうかなということで信頼関係が生まれ、活用が増えると思います。

私も昔、県の出先に支援機能がある機関にいたことがありますが、あの時に商工会の方々とのお付き合いがありました。

やはり、県内の商工会でも地域で差があって、経営指導員の方の力量で全然違うということがあります。熱心な方が一人いると、県の施策をうまく使うという点で差がついていたのではないかと思います。そういった初期対応として、うまく課題を聞いて整理してあげて、次の支援メニューにコーディネートできると良いのではないかと思います。

最後に、将来的な人材確保という意味では、小中高校生のキャリア教育を重要視したいと考えています。将来を担う子供たちに、地元の中小企業の方の魅力が知られていないことがあります。実は地域貢献活動として、お祭りなどでも中心的役割を担っておりますが、そういったことも知られていないという意見もある。小中高校生に中小企業者や小規模企業者の魅力をどんどんアピールしていかないといけないと思っています。

これは、県が行うには限界があって、市町村単位の地元で産業界と学校が連携して行った方が、物理的にも近いですし、具体的に動きやすいのではないかと思います。

人材不足対策として、短期的な取組みもありますが、中長期的な視点でもって、是非地域の学校との取組みなども盛り込んでもらえたらと思います。

C 委員

産業振興ビジョンについては、県の案や市の案で進めているところだと思いますが、先程もありましたが、その先の細かな部分に入っていないと、提案だけでは進んでいけないのではないかと感じられます。ここで話し合ってもなかなか良い考え、良い商品も生まれませんと思います。

やはり、実際現場での生の声を吸い上げながら、この会議で揉んでいくということが一番現実的だと思います。

それから、商業、サービス業のアンケートについて、空港や首都圏に近いことなどが出ておりますが、これについてもテーブルの上での提案でしかなくて、そこから先、本当に何がしたいのかということが大事だと思います。アンケートの中にもありますが、レジャーランドの整備、アスレチックやキャンプ場など金儲けをしなければならないということと、人集めをしなければならないということ。人が集まればお金も落としていくという連鎖になると思います。

具体的に、富里で何ができるのかというと、以前開発した「房総ポーク」や「プラチナポーク」など、実際に養豚業者がいらっしやるので、そういうものを中心とした商品開発、野菜を中心とした富里ならではのフリーズドライの開発を試みるなどが必要だと思います。

あと、先日お話ししましたが、ジンギスカンなどは良いのではないかという意見があります。そういったものを中心としたマーケットなどがあると良いと思います。

以上のようなことを少し具体化して、いろいろな案を模索して、少しずつ具体性が出てこない商品開発もできないし、お客様に買っていただけるお土産や商品もできないと思います。

会 長

各委員から話がありましたが、もうアクションプランや具体的な数字があっても良いのではないかと感じております。

農業の方は素人でよくわかりませんが、例えば、新たに農業を始める方も、人手不足の問題が非常に重要だということを聞いております。今後大規模化になっていくわけで、外国人労働者を富里市でうまく取り込めるシステムのような受け入れ機関があれば、新たな雇用が出来るということを知っていますので、人手不足を解消しながら、思い切って生産額を前年比5%上げるなど、そのような数字を目標として掲げてもいいのではないかと思います。

例えば、創業についても先程リーサスの話が出ましたが、空港周辺は軒並み10%以上の創業率になるところが多い。富里は7%で周辺の10%というのは非常に高い数字です。何年間維持するなどの目標数値があってもいいかなと思っております。

また、後継者対策についても、富里市の小規模事業者がいかに多いということがデータでも明確になっています。その人たちが持っている商圈を、次の世代に受け継いでいくことに対する目標があっても良いと思います。

6次産業化の話も各委員からも出ておりましたが、6次産業による新たな産品というのは、ここ何年間で開発するというようなアクションプランがあっても良いと思います。やはり、10個くらいのアクションプランで数値的な目標をビジョンの中に入れた方がいいと思います。

市の都市マスタープランとまち・ひと・しごとの人口問題についても、実は両方とも座長をやらせていただいておりますが、人口を増やそうとすると、地域の中の地方創生で原動力がないといけないうわけで、当然成田空港ということになっていくわけですが、空港

周辺の物流会社のアンケートを取ると成田空港から物流として一番良いのは、富里を通過して酒々井インターを利用したいという会社が8割とのこと。やはり、都心に物を持って行きたいというのがあるのでしょう。

そうすると、それに伴い都市マスタープランで動線を作りましょうという話を今しておりますが、この地域というのは、産業的に物流的な産業、特に第二工業団地がそうであるように、物流基地のようになっている。そういったことを産業的に誘導していてもいいのではないかと考えております。第三工業団地を作るのか、あるいは道路を少し広げて、その周辺が土地利用できるようにすることなど。新たな市街化区域を作ることは難しいと思います。

先日、千葉県の都市部の方が委員として来られておりましたが、少しでも人口を増やす方法はあると、基本的なプランとして持っていくと辛いようですので、都市の基盤整備、下水道の整備などもしないといけない話をしておりました。

人口を増やすとなると産業も増やさないと人口が増えないということになるため、一体化になるのではないかと考えています。

今後はアクションプランとしてデジタル化することと、空港と人口も含めて連携をもっと密にしていきたいと思っています。

D 委員

ビジョンというタイトルの中でどこまで具体的なものにするのかということは置いておいて、例えば、観光の振興の部分で言えば、観光協会がより具体的なビジョンまたはプランにするのか、そこを示して、市のビジョンとしっかり連携をとった形で摺合せをして作っていくということが必要ではないかと思っています。

いずれにしても、今のところ積み上げていくようなイメージで物事が動いているような感じがする。例えば、人口の話をするれば、自然に増えていくことは絶対にあり得ないわけで、経済も自然に伸びていくことは、オリンピックや小さなバブル的な要素を除けば、基本的にはないと思います。

やはり、数値的な部分できちんとした目標設定をして、これを達成するために何をすべきなのか、また誰がやるべきなのか、誰と連携するのかなどを落とし込んでいければ非常に現実的になってくる

のではないかと思います。

G 委員

最初、議長からいろいろ国の施策などの話がありました。現在は、富里市だけの目線の中でのビジョンが出ているわけですが、新規就農や外国人労働者の話がありました。農業の方も外国人就農ということで、市内で農協は考えておりますがやっていない。県としてもやっていない。ただ、その意見が多くて、茨城県が進んでおります。千葉県も農協系統の中央会やサポートセンターがいろいろ作っております、外国人就農について取り組んで行こうという動きがあり、ようやくスタート位置にきました。

市だけでなく、県もビジョン作りをやっておりますが、関連を含めたビジョン作りもいいのではないかと思います。

私も県の落花生の役員や特産物振興協議会会長もやっておりますが、その中で落花生については新品種の開発あるいは新品種を利用した6次産業の要素を持った提案等をしている。またレシピの講習などもこれから具体的に進めていこうとしております。

他の面でもいろいろな計画等がありますので、その辺をうまく関連させることで違ってくると思います。

物流に関係しても、茨城、埼玉に外環道が出来た時に、早くも物流基地が出来ているという情報も入ってきていたので、早く取り入れたところが優位に動いていると感じた。

それに関連して、工業団地でも進めていけるようなところもあると思います。

アドバイザー

空港の話が出ていますが、空港との連携を具体的にどうしていくのかということが見えていると良いと思います。空港に近いという話しかないものですから。どういう形で空港を利用するのか。空港の利用者数はいわば消費者の集団です。つまり、すぐ近くの空港に人口の集積があることはある。そこは需要の塊ですから。それを認識した上でビジョンを考えれば、より具体的なアクションプランも作ることにはできるのではないかと思います。

B 委員

産業振興ビジョンですが、前よりもデータが増えてより充実してきましたはありますが、せっかくリーサスで農業や食料品、それから住宅賃貸といった特徴があるとわかったことをビジョンに盛り込んでいただけないかなと思っております。

今の状態だと、数字だけの羅列になってしまっていて、ここから何を読むのかというのは、この会議に出た人はわかるかもしれませんが、市民には伝わりにくいと思います。

そういった強みの活用について、ここでの議論では、農産物を活用して何か作ろう、成田空港を活用しようということが出ていますが、それをいかに具体化できるかということが大事だと思います。

地域資源を活用するという話ですが、富里市のふるさと産品を見ると、結構加工したのがあります。JAさんが取り組んでいるようですが。富里市のふるさと納税の返礼品に使われていると推察しています。ふるさと納税を上げるためにも是非良い物を作っていただければと思います。みなさんが食べたいなというものをコンテストを通して生み出していくという方法も考えられます。

富里市の産業まつりがありますが、そういう機会を捉えてコンテストを行い、トップになったものをお披露目していくとか。順位は、そこで市民の方々に決めてもらうとか、いろいろやり方は考えられます。是非富里市の強みに特化した取組みをやっていただきたいと思います。

G 委員

先程、ふるさと産品の話が出ましたので、私が、ふるさと産品育成協議会の会長をやっておりますが、なかなかヒット商品が出来ない。それから、商工会青年部がB級グルメの提案等の活動もしております。落花生のプリンがあり現在販売しております。

そういう面では、歴史的に十数年、育成協議会があるので、6次産業と言われる前から取り組んでいました。その中で今話があったように、今後ともふるさと産品育成協議会の中で、角度の違った考え方で進めていけることもあると思っております。

アドバイザー

地域ブランドという点では、富里イコールすいか、人参という段

階にとどまっているのが現状。本当のブランド化というのはもう少し上の段階で、「富里のスイカは他と全然違う」といわれる段階にまでいかないといけない。現状でも大変知名度は高いが、現状に安住しないでもう一段引き上げられる段階を目指すことをビジョンに取り入れられれば最高だと思います。

G 委員 農協では指導課がありまして、農家の方と試作品を作りなどのいろいろな取組みをしています。スイカの産地で今年は九州など全国の産地としていろいろありますが、内容的には富里スイカの方が一歩前に出ていると自負しております。それから、品種作りの中でも、展開的には2020年の東京オリンピックに向けて取り組んでおります。

D 委員 この話をこのメンバーで作るところからしておりまして、このメンバーだけで推進はできないと思いますが、どの段階からいろいろな周りを巻き込んでいくことが可能になるのでしょうか。

事務局 ただいまの原委員の質問と、それから今までのお話の中での市側の考えについて、ご説明をさせていただきます。

現状、委員の皆様で作りに上げていただくというお話の他には、アンケート調査による回収、その分析ということをやっています。また、事業者への直接のヒアリングも何件か行わせていただいておりますので、それを皆様にご報告させていただくことで、とりあえずはある程度補完できるかなと思っている部分もあります。

また、もう少しいろいろな事業者の方を会議に招いて、話し合いをもっと活発に行いたい、あるいはそういった方法もあるのではないかとご提案があれば、実現できるように取り計らいたいと考えます。

しかしながら、ビジョンの調整までにあまり時間がないものですから、できましたら翌年度以降の産業振興推進会議での課題ということで捉えさせていただければと思います。

それと、これまでお話いただいた内容についての、市の現状での考え方を少し触れさせていただきます。

皆様からの、共通のご意見としては、ビジョンとしての市の状況は把握できたけれど、具体策がまだ明示されていないという点につきましては、ビジョン案の13ページにございます、3番の産業振興の方向性、こちらの中で徐々に皆様の意見等を踏まえ記載を進めてまいりたいと思います。具体的なところで、(4)創業支援のところに商工会との連携を行っております、創業支援セミナーの内容について書かせていただいているところはありますが、このような形で、充実をさせていきながら、こういうことをやっていきたいということは、書かせていただきたいと思います。

また、もっと具体的に数値目標などを示すということもあるかと思いますが、アクションプランという形では、このビジョンを膨らませてしまいますと、膨大な事業量になってしまいますので、できましたら、ビジョンはビジョンで構築させていただいた後に、各アクションプランについては、市が調整する、あるいは事業者の中で調整する等の検討を踏まえながら、別に調整をさせていただくということでご理解いただければと思います。

その他、載せさせていただく項目として、今ご意見のあったものについて、国や県の政策については、必ず明記をするということ。

それから、項目として一つ確立したいこととして、富里ブランドということは是非確立したいと考えております。

また、現状ビジョンの中で、いろいろ指標やこれまでの統計数値等あげさせていただいておりますが、これにリーサスや各種センサスの数値をもう少し幅広く取り入れていきたいと考えております。

会 長 その他よろしいでしょうか。よろしければ(2)その他は事務局からありますか。

事務局 事務局からは特にございません。

会 長 よろしければ、議事を終了させていただきます。進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。

次回の会議の日程等を11月または12月に向けて、これから調整させていただきます。

その他ないようでしたら、会議を終了させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

以上をもちまして、平成29年度第3回富里市産業振興推進会議を終了させていただきます。長時間ありがとうございました。